



高橋 雅也さん (36)  
さおりさん (35)  
＝胆沢区小山字上白鳥川＝

## 雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

平成17年に結成した胆沢区  
のよさこいチーム「飛勇凛」  
の中で活動する雅也さんと  
さおりさんの夫婦です。  
二人は同じ高校に通い、お  
互い顔は知っていました。当  
時はあいさつを交わす程度  
だったといいます。社会人  
になり、同じよさこいチームに  
入ったことがきっかけで交際  
がスタート、27年4月に結婚  
しました。

演舞を披露する飛勇凛。祭り  
などへの出演は年間50回を超  
えるといいます。踊りの振り  
付けを考える雅也さんとさお  
りさんは、お互いアドバイス  
をして新しい作品を作り上げ  
ていきます。

二人の楽しみは、毎年北海  
道で開催している「YOSA  
KOSORAN祭り」に参加  
すること。全国から集まった  
チームと踊る喜びは格別だ  
といます。現在は9月17日  
に行われる「奥州YOSAKO  
LINみずさわ」に向け、会  
員全員が心をひとつに取り組  
んでいます。

11月に出産を控えているさ  
おりさん。さりげなく荷物を  
持ってくれたり、進んで家事  
をしてくれる雅也さんにと  
ても感謝しています。「今は赤  
ちゃんのためにも、無理をせ  
ず自分を大切に毎日を通し  
てほしい。そのためのサポー  
トは惜しまない」と頼もしく  
話す雅也さんでした。



菅原 梨沙さん  
(江刺区・田原小学校6年)

Interview

## 夢トーク

### 将来の夢は「保育士」

—学校の役割は？  
児童会長です。全校児童が明るく、笑顔で生活できるように「あいさつ運動」と「笑顔キャンペーン」に取り組んでいます。

—小学校生活の思い出や楽しかったことは？  
修学旅行で行った仙台の八木山ベニーランドです。ジェットコースター「八木山サイクロン」が面白かったです。家では、家族と一緒に話しをしてご飯を食べているときが楽しいです。

—好きな教科、スポーツは？  
理科です。特に実験が好きで、

物や植物などの変化を観察するのが面白いです。平泳ぎが得意なので中学校では水泳部に入りたいと思います。

—将来の夢を教えてください。  
保育士です。小さい子が好きで、一緒に遊んだり、お世話をしたりしたときに笑顔になってくれることがうれしいです。

—夢を叶えるために頑張っていることは何ですか？  
学校で低学年の子と遊んだり、親戚の子のお世話をしたりしています。中学校で職場体験があれば保育園に行ってみたいです。



## 青春讃歌

ソフトテニス部  
(岩谷堂高等学校)

- ◎部員数 22人
- ◎顧問 和賀 大毅 先生
- ◎顧問 千葉 武徳 先生
- ◎部長 高橋 天馬 君(2年)
- 佐々木 美紅 さん(2年)
- ◎主将 菊池 龍雅 君(2年)
- 及川 愛海 さん(2年)

### 県新人大会 男女そろってベスト16を目指す

5月に行われた県高総体で男子はベスト16、女子は2回戦へ進出した岩谷堂高校ソフトテニス部。3年生が部活を引退し、男子12人、女子10人の計22人の部員が活動しています。

「チームワークが良く、明るく元気に毎日の練習をこなしている」と話す部長の高橋天馬君。サーブとレシーブを中心に、一球一球、丁寧にボールを返すことを心掛けて練習する男子部員たちです。

基礎練習に力を入れている女子部員たち。「後衛で揺さぶられても最後まで諦めないこと、走ってボールに追いつく粘り強いプレーをしたい」と主将の及川愛海さん。ボールを打ち合う「乱打」を重点的に取り組んでいます。

8月25日と26日に行われた地区大会。「ミスが多

かった。反省していく中で一人一人の弱点も分かったと思う」と話す部長の佐々木美紅さん。弱点を克服し、強みを生かせる試合を目指して練習に取り組んでいます。



サーブの練習に力を入れる男子部員

顧問の和賀先生は「誠実で思いやりのある部員たち。仲間を信じ、明るく、激しく、最後までやりきるテニスをしてほしい」と期待を寄せます。

雨が降ってきても屋外での練習を続けることもあるソフトテニス部。9月29日から行われる県高等学校新人大会、男女そろってベスト16以上を目標に練習を続けていきます。



スポーツ・文化の秋到来ですが、いかがお過ごしですか。本県初開催となったカヌージャパンカップは8月5日、6日の2日間、奥州いさわカヌー競技場で開催されました。競技には日本代表を含む国内外の選手のほか、地元胆沢区から岩瀬政浩選手も出場。全国屈指の急流コースを果敢に攻め力漕ぎしました。会場には県内外から多くの観客が来場し、ダイナミックな競技に声援を送りました。東京五輪に向け国内外の選手の技術向上に積極的に利用いただくなど、この競技場そして本市を全国にPRしてまいります。

水沢区の旧緯度観測所本館など関連施設4件が、国の文化審議会より登録有形文化財に登録するよう答申され、本年度内に登録される見通しとなりました。「乙項」を発見し

第一回文化勲章を受章した初代所長木村栄の功績を今に伝え、取り壊しの危機から市民運動により一転、保存改築し、国が認める文化財となったこれらの施設をいつまでも大切に後世に残してまいります。

ことしで8年目となる早稲田大学公共経営大学院の院生によるフィールドワークの発表会がありました。今回のテーマは「奥州市に縁がある人物とのコラボレーションによる奥州市のPR戦略について」です。水沢三偉人の一人齋藤實の妻・春子婦人に着目した提言や農泊と体験を組み合わせた奥州ツーリズムなどの提言をいただきました。各施策にどのように反映できるか検討してまいります。

奥州市文化会館の開館25周年を記念したオペラ「ラ・ボエーム」が上演されました。地元出身の監督やソリストのほか、市民合唱団らが出演し、感動的なステージを創り上げました。これからの文化の拠点として利用いただきたいと思ひます。

奥州市長 小沢昌記